

### 【意見】

「観光」、「B級グルメ」、日本全国総じて観光地大戦争をして勝ち残るのは非常に大変です。沼田市は、沼田市本来持つ資源を生かしませんか。森林、水です。さらに河川の落差。太陽光発電は夜間、曇、冬季発電できません。沼田市民には4kwで200万円は高すぎます。実は東電管轄の沼田市内の発電所は多数ありその発電量は莫大です。1つで2千世帯分賄う発電所はざらです。1回調べてください。市営の発電所を作りませんか。財源を生み出しましょう。NEDOから補助もできます。河岸段丘を使い揚水力発電も可能です。小水力流れ込みの365日24時間発電の電気を上手く揚水に使う事で昼の電気を賄うことも可能です。電気は最も人間に有用なエネルギーです。熱、光、動力に簡単に変換可能です。今回の震災でも電気が日本の経済を支えていることを身をもって知りました。火力発電の原油が日本に入らなくなったら、食料自給率40%ですがエネルギー自給率は何%。そろそろエネルギー安全保障の観邸から政策をうって良い世論になってきていると思います。本当の意味で、地域資源で地域活性化をまずしたいです。その財源で町おこしをして遅くないでしょう。

男：30代：沼田市在住

### 【回答】

今回の東日本大震災の発生により、電気の重要性、必要性については、改めて認識をさせられたところであります。

本地域は、利根川の源流に位置し、森林に囲まれ、水量が豊富なことから、群馬県企業局や東京電力が管轄している水力発電所が11か所、建設中の水力発電所が1か所あります。

今後、ご意見も参考にさせていただきながら、地域資源を活かした活性化策について、研究をしてまいりたいと考えております。

担当：総務部企画課